

海外研修 社会福祉・介護福祉学科対象

米国・ロサンゼルス 研修6日間プラン(カスタマイズ可能)

		午前	午後
1	月	日本発 ロサンゼルス着	ロサンゼルス市内観光後 ホテルチェックイン
2	火	研修オリエンテーション 講義① ◆ 米国福祉制度概要 - 社会保障制度 - 福祉対策(高齢者対象・障害者対象) - 民間福祉サービス	現場視察① ◆ リハビリ専門病院 - ICU - 一般・リハビリ病棟 - リハビリ技術センター&モデルルーム - 社会福祉士による講義 (身体障害者に対する福祉制度、脳損傷・脊椎損傷の患者に対する教育・サポート) - 介護士による講義 (生活訓練課程と介護士の実務内容、他)
3	水	講義② ◆ 各医療サービスと患者の流れ(急性期病院、準急性期病院、専門外来、在宅医療等の連携) ◆ 医療保険と介護保険の現状 - 公的保険制度(高齢者・障害者対象) - 民間介護保険の現状	現場視察② ◆ 知的障害者福祉施設(外来) - アクティビティルーム・活動の見学 - 心理療法士による講義 (発達障害のアセスメントとケアプランの作成、セラピーの紹介、他職種とのチーム連携) - 社会福祉士による講義 (発達障害に対する福祉システム、家族へのサポート)
4	木	講義③ ◆ 社会福祉士による講義 - 社会福祉士になる為の過程 - 職業の展開と各機関での主な役割 - 実際の業務内容、1日の流れ - 患者・家族とのコミュニケーション	現場視察③ ◆ 認知症専門介護施設 - 介護施設内見学 - 臨床管理者による講義 (最新リサーチに基づいた施設設計工夫の紹介、アセスメントとケア管理、転倒予防、他) - 社会福祉士による講義 (ホスピス患者に対するサービス、他) - 介護士との面談
5	金	講義④ ◆ 訪問介護事業管理者による講義 - 介護士になる為の過程 - 職業の展開と業務内容 - 初期アセスメントとケアプランの作成 - 患者の精神・認知状態の把握 - 転倒予防の為の指導方法	現場視察④ ◆ コミュニティ福祉サービスセンター - 社会福祉士による講義 (サービス概要、各種プログラムの紹介、社会福祉士の業務内容、カウンセリング方法) - 現地学生との交流会 - ボランティア・コーディネーターとの面談
6	土	終日自由行動	
7	日	終日自由行動	
8	月	現場視察⑤ ◆ 小児専門病院(*) - ICU - リハビリ病棟 - 癌病棟	- 癌病棟社会福祉士による講義 (癌患者に対する福祉システム、家族への精神サポート、サポートグループの紹介) - 院内学級の見学と教師との面談 - 小児虐待対応プログラムの紹介
9	火	現場視察⑥・ボランティア ◆ 総合シニアコミュニティ(*) - ナーシングホーム(療養型施設) - 認知症ユニット - 介護施設 - 社会福祉士による講義 (業務内容、他職種との連携、他)	- 老人学エキスパート(元・看護師)による講義 (シニアとのコミュニケーションのコツ、鬱や不安症などの精神疾患のサインを見逃さない方法、家族サポート) - ボランティアを通じての異文化交流 ◆ 研修のまとめ、質疑応答 ◆ 米国看護研修 修了書授与
10	火	ホテル チェックアウト、ロサンゼルス発	
11	水	日本着	



視察先の都合により見学場所が変更になる場合がございます。
その他要望に応じて講義内容を設定いたします。

ミレニア・エデュケーションのご紹介

医療・福祉研修実績20年以上、過去受講者数 8053名。2009年東京大学附属病院、2012年山口大学付属病院・大分付属病院が選択した海外研修先。米国ヘルスケアにおいて、在宅医療・介護サービス提供社として20年以上の臨床活動とネットワークを活用。事前のニーズ把握から日米医療システムの比較解説、現場通訳までのトータルコーディネートにより、高度な専門性と高い満足度を保証。

海外研修 社会福祉・介護福祉学科対象

米国・ロサンゼルス 研修6日間プラン(カスタマイズ可能)



アメリカで福祉研修を行うメリットは？

＝修士号を取得し、高度なカウンセリング知識を持ったソーシャル・ワーカーが多岐に渡って活躍する現場を体感！

✓ チーム医療の一員として重要な役割を果たすソーシャルワーカー

病院では、それぞれ病棟専属のソーシャルワーカーがおり、患者・家族の代弁者としてチーム医療会議に参加します。

✓ サポートグループを通してのセルフケア教育が進んでいる

アメリカでは、多くのソーシャルワーカーがサポートグループを運営し、セルフケアの手助けをしています。

生の声を聴き、仕事の喜び・大変さ、充実感をしっかり感じとる事ができます。

》 研修プログラムのメリット

医療現場と福祉現場(高齢者福祉、身体・知的障害者福祉)両方の場面で社会福祉士・介護福祉士にじっくり話を聞くことができる。社会福祉士・介護士による講義で、更に現場の業務実態を理解。

最新リサーチに基づいたアセスメント方法、カウンセリング、サポートグループなどの現場の工夫を紹介。症例を使って分かりやすく解説。ディスカッションの時間も十分に用意。

ナーシングホームで患者様に対するボランティアや、施設内での現地学生との交流を通し、異文化交流ができる。英語に自信がなくても、現地日本人スタッフがしっかりサポートするので安心。

視察の前に、米国の福祉制度、医療・介護保険制度などのバックグラウンドを日本語でしっかり予習できるので、現場スタッフの話がよく理解できる。通訳もとても分かりやすいと評判。

予算とニーズに合わせて、日程や研修内容を自由にアレンジ可能。研修終了後には、米国看護研修修了書がもらえます。

学生の感想

研修を通して、自分の目指す医療従事者のイメージが明確になったように感じる。また、現場スタッフの話をたくさん聞いて、通常では学べない事を多く吸収できたし、励みにもなった。これから、もっと真剣に勉強して必ず質の高いサービスが提供できる社会福祉士になりたい。



》 研修内容のお問い合わせ

ミレニア・エデュケーション

Millennia Holdings, Inc.

3731 Wilshire Blvd. Suite#900

Los Angeles, CA 90010, USA

Tel : 国番号+1(213)252-1230

E-mail : info@iryu-kenshu.com

(日本語での対応可)

URL: www.iryu-kenshu.com

担当: 河内、松本